

ふくろう通信

2022年 7月 1日 自然博物園 ねいの里

就任あいさつ 新館長

俊成 松井



この4月に「自然博物園 ねいの里」の館長に就任した松井です。 これまで、仕事の上では自然保護関係にはあまり縁がなく、私のことを ご存じない方がほとんどだと思いますが、どうぞよろしくお願いします。

とはいいつつも、個人的には、平成8年にナチュラリストの認定を受け、 その後数年間はナチュラリストとして自然解説をやっていたこともあり ました。ただ、仕事柄、比較的得意な分野が樹木関係だったことから、頼 成の森や、今はナチュラリストの配置がない有峰に偏って活動をしており、 どちらかと言うと動物がテーマというイメージのあったねいの里での解 説活動は経験がありませんでした。ちなみに、森林限界から上もテリトリ 一外だったので、室堂での活動も経験していません。

そんなわけで、昆虫はもちろん、ヘビやトカゲ、カエルの見分けについては全くのど素人、さらに、 かつて覚えていた樹木名や多少勉強した野鳥の名前すらも、年齢とともにはるか忘却の彼方へ…も はやナチュラリストとは恥ずかしくて言えません。

そんなポンコツ館長ではありますが、ここの優秀なスタッフと「自然塾の会」の皆さんなどの応援 により、行事や日々の業務は滞りなく行われており、おかげさまで、腰にMyナタノコをぶら下げて の「パトロール」と称した昼の散歩や、無心になれる目立てなどのチェンソーいじりを楽しませても らっています。また、小さな子供たちとのふれあいは個人的には新米ジィジの勉強にもなり、久しぶ りのフィールド職場を堪能していますが、一方で、昨年の「いこいの村」の廃業により、今年のねい の里の来園者数は厳しい状況になることは容易に予想されることから、のんきに楽しんでばかりも いられません。

かくなるうえは、もう一度、しっかりと勉強し直して、ねいの里の館長にふさわしい知識を身につ け、ベテラン職員の皆さんや、これまでねいの里を盛り上げてこられた多くの関係の皆様とともに、 来園された方に喜ばれる、ねいの里ならではのサービスを提供していきたいと考えています。

年々、記憶力と体力の劣化が進行しているため、少し時間がかかるでしょうけど、どうか皆さまに は、生暖かく見守っていただきますようお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

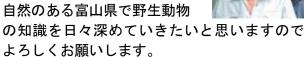
新採用職員のご紹介

2人の仲間が増えました。どうぞよろしくお願いします。

平栗祐子(鳥獣)

山に囲まれた長野県出身なこ ともあり、昔から自然に慣れ親 しんできました。

ねいの里で働きながら、多様な 自然のある富山県で野生動物





百瀬伸子(環境整備)



小さい時から自然や動物が好 きで、いつも自然と触れ合える ねいの里で日々楽しんで仕事 をしてます。ねいの里に来られ る方が自然や生き物をもっと

好きになれるお手伝いができるように頑張りま す。



🏫 ホウホウクイズ ; 本紙の中に「🧼 」が何匹隠れているか当ててくれたまえ。答は巻末じゃ。

ジュニアナチュラリスト研修(5/21)

昨年ジュニアナチュラリストに登録された少年少女 21 人が、富山県自然保護協会の皆さんとねいの里を訪問し、自然について学んでいきました。



館内では、カエルの生態をビデオで説明を受け、魚やザリガニの 食事から生態を学び、水辺の生態園ではヤゴの形態からトンボの種

類を探すなど自然の様々な姿を学びました。 新ジュニアたちは、さすがに豊富な知識 を持っており職員たちを困らせたり・・・ 将来のナチュラリストたちにエールを送 り、終了となりました。



遠出して自然散策(6/19)(主催;自然塾の会)

5/1 予定の「春の遠足」は、雨のため中止となりました。来年度こそは実施したいと思います。 一方、「遠出して自然散策」は晴天に恵まれ、17 人の参加者が足取りも軽やか(?)に、そして賑や かに「姫川源流自然探勝園」や雨飾山近くの「鎌池」を散策してきました。







姫川源流遊水地

遊水地周辺

昼食風景

アサギマダラが羽化



終齢(蛹直前)







with free

蛹

成虫

5/29 アサギマダラ調査グループの会合で入手した幼虫(3 齢)が、食草の一つシロバナカゴメヅルの葉をもりもり食べて容器の上で 6/9 に蛹になりました。その後、6/23 無事に羽化してくれました。即日マーキング後、放蝶しました。どこかで再捕獲されるといいですね。

No. TSN001 2022/6/23

後日、もう1頭羽化しましたNo.TSN002 2022/6/26

トピックス

アサギマダラ調査グループの永井こはるさんが、鹿児島のテレビ2社の 取材を受けられました。鹿児島でマーキングされたアサギマダラを永井 さんが朝日町で捕獲したことがきっかけで、報道が注目したそうです。

Zoomで楽しく取材を受けられたようで、これからの活躍に期待したいですね。



取材風景

ねいの里 行事報告

○ (4/10、5/8、6/12) ちびっ子自然体験









1回目(4/10)

2回目(5/8)

3回目(6/12)

毎月実施する企画でスタート。いずれも定員越えの抽選となりました。4月と6月は当園の水生庭園で虫や魚取りを楽しみ、5月は古洞の森で虫や鳥の観察をしました。

古洞の森では、ヘビに触れたり野鳥のミサゴの巣を観察するなどねいの里ではなかなかできない体験となりました。

親子の参加だったので、普段できない家族の触れ合いを楽しめたのではないでしょうか。 今年は、11 月まで毎月 1 回実施します。7 月分も定員の 2.5 倍の申し込みがあるなど、人気 企画なので毎回抽選に漏れた方々も多く、ご意見をいただいたりしています。

● (4月17日) *ネイチャービンゴで里山散歩 (共催;自然塾の会)*

親子で参加が多く、自然のビンゴゲームを楽しみました。天候にも恵まれ、フィールドを駆け回る親子の歓声が響いていました。同時に採取した野草を天ぷらにして食べたところ、意外においしくて、皆さん食談議に花が咲いたようです。

また、口直しに提供したヨモギ茶も好評で、飲んですぐヨモギと分かってしまいました。

今後も、時々、野草茶を提供したいと思います。



天ぷら。うまそう~。

● (5月15日) 愛鳥週間バードウオッチング (共催;富山県、鳥類保護連盟)



ミサゴの営巣を確認

バードウォッチャーが多数参加して、賑やかな観察会となりました。

今回はミサゴの営巣の様子を確認でき、皆喜んでおられました。

その他にも、シジュウカラやホオジロなどの鳥類を始め、トンボや草花なども多く観察でき、とても充実した観察会となりました。



● (6月25日) *ヘイケボタル観賞会*

雨予報で実施が危ぶまれましたが、降られることなく無事に実施 できました。

竹細工やバイオリン演奏やホタルの話を聞いてから水生庭園で観賞会でした。・・が、ホタルの数が例年より少なく、少し寂しい観賞会となりました。

オカリナ演奏会



ホタルの話



でも、暗闇で幻想的なホタルの光に参加者は歓声を上げながらも癒されていたようです。館内で聞いていたホタルの話を振返りながら見ておられる参加者もあり、良きひと時を過ごせたと思います。(主催者の主観です)

ねいの里 これからの行事案内

● 7月10日(日)

ちびっ子自然体験 8月14日(日)

9月11日(日)

時間:10:00~12:00 場所:ねいの里 対象者:幼児、小学校低学年とその保護者 定員;各回30名 参加費;無料

今年は毎月第2日曜日実施。ちびっ子が生き物に親しむため、季節 ごとにみられる森や水辺の生き物を観察したり触ったりします。

) 7月31日(日) 水辺の生き物観察

時間:9:30~12:00 場所:ねいの里

対象者:小、中学生 定員;30名(保護者含む) 参加費;無料

水辺の生態園で、魚や水生昆虫を観察します

● 8月6日(土) 大賀ハス観賞会 兼 写真教室 -8/7 は中止-

時間:7:30~8:30 集合場所:水辺の生態園

対象者:一般 定員;なし(自由参加) 参加費;無料

二千年前の種子から発芽生育した清らかで大輪の大賀ハス花を観賞します。

併せて、写真撮影のポイント説明会も行います。カメラをもって、GO~!!

詳細は、HPを確認してください。

● 8月21日(日) トンボ調査と標本作り

場所:ねいの里 時間:9:30~12:00

対象者:小、中学生 定員:30名(保護者含む) 参加費:無料

園内でトンボを採集し、標本を作ります。

9月24日(土) チョウの鱗粉転写と秋の鳴く虫観察

時間:16:00~19:30 場所:ねいの里

対象者:小学生とその保護者(但し、鱗粉転写は子供だけ)

定員:10組(30人程度) 参加費:無料

採集した蝶の羽で鱗粉転写体験をします。その後は、虫の声を聴きながら夜の森を歩きます。

〈行事への参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい。〉** 受付期間は、行事実施日の1ヵ月前から1週間になります。

■ 特別展示

7/2~7/31 富山県自然保護協会環境写真展

7/16~ 8/21 カブト・クワガタ展

8/3~9/11 キッズにこにこ写真展

8/24~ 9/25 秋の虫展

9/15~10/30 ねいの里キノコ写真展





○「ねいの里自然塾の会」会員の駐車場利用について

会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラリスト駐車場を利用出来ます。



発行 富山県自然博物園ねいの里 館長 松井 俊成 〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住 1-1

Tel 076-469-5252 /メールアドレス shizen@toyamap.or.jp ホームページ http://www.toyamap.or.jp/shizen/

🏫 ホウホウクイズ:正解は3匹。2ページ3つ目の帯の中と3ページちびっこのイラストの中と4ペ ージ「ちびつ子自然体験」横の葉っぱの中。 どうじゃ、分かったかな?